

## <27 年度入学式>

新入生の皆さん。入学お目出度う御座います。本日、1,292 名の平成 27 年度入学者をキャンパスに迎えることは、私どもにとってこの上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。入学の喜びと勉学の意欲に燃える皆さんのフレッシュさを私どもも頂戴し、一緒に新たな勉学の場につくことができるという嬉しい気持ちで一杯です。またこの場をお借りして、今日まで皆さんを支えて下さった保護者の皆様、諸先輩方にも衷心よりお祝い申し上げたいと思います。

さて告辞を始めるに当たりまず岐阜大学の歴史を紹介し、少し自慢させて頂いた上で、皆さんが卒業し、社会で中堅として活躍するに至る、ほぼ 10 年先までの大学の将来計画を申し上げ、以降の告辞につなげたいと思います。岐阜大学の創立は、予備校などの受験資料では 1949 年になっています。しかしそれぞれの学部はスライドに示すとおり古い前身を持ち、中でも教育学部の前身である岐阜師範学校は明治 7 年、1874 年の創立で昨年 140 周年の記念式典が行われました。ここまで遡ると我が国で 4 番目に古い大学として位置づけられています。ソフト、ハード両方のアーカイブが学内のみでなく市内にも残されていますので、何れ探訪して頂くことも面白いかと思えます。

10 年先、2025 年を見据えた岐阜大学の将来ビジョンです。細かい記載項目のご説明は今日は省略させて頂き、最も大事なストーリーをお話しします。まず岐阜大学は「人が育つ場所」です。私どもの側から申し上げますと人を育てる場所です。ではどういう人材を育てたいのか？ 「学び究め貢献する」ことができる人材です。「学び究め」は容易にご理解頂けると思います。強調したいのは貢献です。地域貢献という言葉がすぐ浮かぶかと存じますが、私ども岐阜大学の理念における「地域貢献」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではもちろんなく、全国、さらにはグローバルな貢献を視野に入れたものです。また単に教職員、学生の側から貢献を言うのではなく、それぞれ貢献する場における需要に対応したものでなければなりません。教職員、学生が一体となって日本の、世界の要望にそぐう「学び、究め」を行う、そのためには学外へ、さらに世界へ出て行くことが重要かと思えます。特に新入生諸君には、どのような分野、対象であれ「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたいと願います。

次の 2 枚で特に国際展開をお話しします。岐阜大学の海外協定大学は 44 に及び、キャンパスにはいつも 300~400 名の外国人留学生がいます。皆さん日本語がそこそこ上手で、英語も今日の新入生程度には話して下さいます。せっかくのチャンスですからどんどん国際的な交流に努めて下さい。また出来るだけ早い機会に海外への飛躍にも挑戦して下さい。スライドは昨年、応用生物科学部の学部学生が iGEM という国際研究コンテストにチャレン

ジしたときの写真です。背景のハインズ・コンベンション・センターは米国のマサチューセッツ州ボストンにある由緒ある会場で、写真の諸君は見事銀賞を獲得しました。岐阜大学には、学生のこのような海外挑戦を支援する仕組みが既に充実しています。

さてこの後は大学生活において心がけて頂きたいことを幾つか申し上げます。

まず勉強の仕方がこれまでとは全く違うことをしっかり認識して下さい。高校までは学校でした。今日からは大学です。これまででは授業でした。今日からは講義です。諸君もこれまででは生徒でした。今日からは学生です。ではどこが違うのか。これから諸君が学ぶのは既存の学問体系に加え、教授陣が個別に血の出るような努力を重ね築いてきた、個性的な自然科学体系であり、人文科学体系であり、社会科学体系です。諸君はそれらを学んだ上で、自分自身の科学大系を独自に構築していく、これが大学での勉強になります。

もう一つ申し上げておきたいことは、大学における勉学は自分の責任において社会人としてなす行動でもあるということです。大学の新生としてキャンパスに入った段階で、諸君はすでに **gentleman** であり **lady** です。私どもはもちろん、社会はそういう目で見、また期待をします。大学という社会で諸君は **lady** あるいは **gentleman** であるべく、あらゆるチャンスをとらえ努力を積み重ねてほしいと思います。

最後に私ども自身の覚悟も申し上げます。岐阜大学は先に述べたとおり「学び究め貢献する」人材を育てる場です。教職員自身も常に自分がそうなるべく、新生諸君とともに努力を重ねるのは当然と、私は考えます。ともによき大学人であるべく手を携えて進んでいきましょう。

今日からのキャンパスライフを大いに充実したものと、また楽しんで下さいと申し上げ、告辞を閉じます。

本日はお目出度う御座いました。

平成 27 年 4 月 7 日

岐阜大学 学長 森脇久隆